

猛暑を乗り越え、良い株が育つようサポート



イチゴ部会地区別育苗巡回を7月7日から18日まで行いました。育苗の大切な時期に圃場に足を運び、苗の状況を確認して部会員と情報共有を行っています。9月の定植まで、こまめな管理指導を行います。苗の生育状況や育苗ハウスの環境などをチェックし、高温障害への注意を呼び掛けました。

年々暑さが増し、去年は定植前の猛暑で苗の生育が遅れ、出荷までに大変な苦勞がありました。今年は雨も少なく、暑さがさらに増えています。灌水、施肥管理、病虫害防除対策、育苗ハウスの管理など、猛暑を乗り越え、良い株が育つようサポートしていきます。

※部会では毎月1日に栽培講習を行い、部会員それぞれの栽培環境や問題点を共有し、意識を統一して品質向上に努めています。



飼料用トウモロコシの収穫開始

畜産部酪農課

良質のサイレージで高品質の生乳生産

酪農家にとって重要な自給飼料のための飼料用トウモロコシの収穫時期がやってきました。1期作の作業を7月中旬から8月中旬まで、2期作の作業を11月から12月に行います。

コントラクター利用組合(農作業受託組織)は7月上旬、自走式ハーベスター操業前の安全祈願祭を地区ごとに行い、収穫作業の安全と組合の発展、組合員の経営繁栄を祈願しました。8条刈りと6条刈りの自走式ハーベスターで労力およびコストの低減と、良質のサイレージで品質の良い生乳生産に励みます。

